



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所 東
コード番号 3405 URL <https://www.kuraray.com/jp-ja/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 川原 仁
問合せ先責任者（役職名） 経営企画室（氏名） 滝沢 慎一（TEL）03-6701-1070
IR・広報部長
半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 2025年9月10日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期中間期	399,958	△2.7	26,261	△42.2	21,284	△51.7	14,039	△53.9
2024年12月期中間期	411,217	7.9	45,464	11.0	44,022	14.2	30,446	39.4

（注）包括利益 2025年12月期中間期 △17,652百万円（－％） 2024年12月期中間期 103,896百万円（41.6％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	43.50	43.47
2024年12月期中間期	91.20	91.14

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期中間期	1,256,961	746,637	58.1
2024年12月期	1,291,238	781,790	59.2

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 729,894百万円 2024年12月期 764,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2025年12月期	—	27.00			
2025年12月期（予想）			—	27.00	54.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	840,000	1.6	75,000	△11.8	69,000	△15.3	33,000	4.0	103.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) Nelumbo Inc.
除外 1社 (社名) クラレクラフレックス株式会社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料11ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期中間期	324,863,603株	2024年12月期	324,863,603株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	5,495,549株	2024年12月期	996,185株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年12月期中間期	322,756,736株	2024年12月期中間期	333,850,601株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 5ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	5
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
（1）中間連結貸借対照表	6
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	11
（継続企業の前提に関する注記）	11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	11
（会計方針の変更）	11
（セグメント情報等の注記）	12

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年1月1日～2025年6月30日)における世界経済は、米国の関税政策により減速し、今後の不確実性が一層高まりました。日本では外需の低迷により景気回復に陰りが見られました。米国は内需に支えられ底堅く推移したものの、関税政策により成長が鈍化する見込みが高まりました。欧州経済は緩やかな拡大基調であったものの、先行きに不透明さが増しました。中国は政府の景気刺激策により個人消費が下支えされたものの、不動産市場を中心に低成長が継続しました。

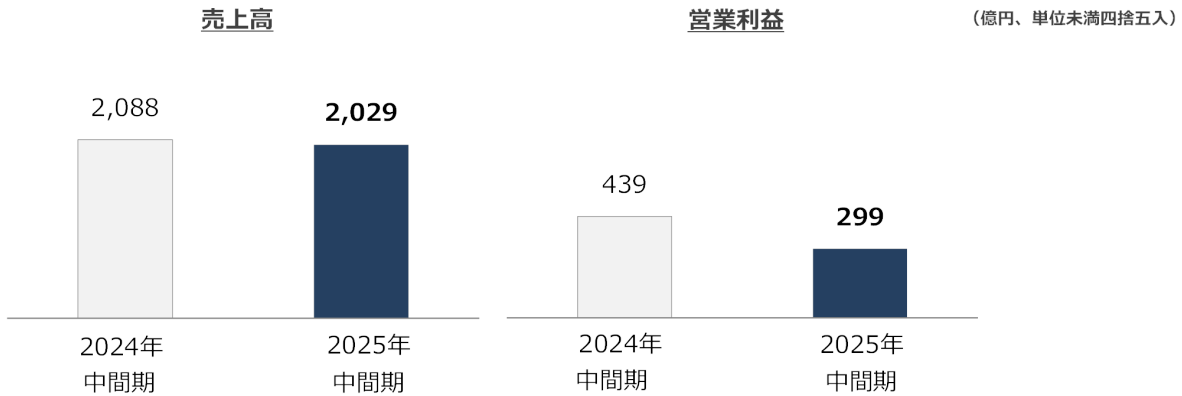
かかる環境下、当社グループの業績においては、売上高は前年同期比11,259百万円(2.7%)減の399,958百万円、営業利益は19,202百万円(42.2%)減の26,261百万円、経常利益は22,737百万円(51.7%)減の21,284百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は16,407百万円(53.9%)減の14,039百万円となりました。在庫評価差額などのマイナス影響を受け減益となりました。

(単位:百万円)

	2024年度 中間連結会計期間		2025年度 中間連結会計期間		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	208,840	43,905	202,885	29,871	△5,954	△14,033
イソプレン	37,538	△4,025	39,944	△1,311	2,405	2,714
機能材料	102,764	6,466	98,140	2,899	△4,624	△3,566
繊維	31,233	721	29,751	△57	△1,482	△778
トレーディング	32,233	2,737	33,908	3,042	1,674	304
その他	24,998	905	22,095	726	△2,903	△179
消去又は全社	△26,390	△5,246	△26,766	△8,909	△375	△3,663
合計	411,217	45,464	399,958	26,261	△11,259	△19,202

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は202,885百万円(前年同期比2.9%減)、営業利益は29,871百万円(同32.0%減)となりました。欧州経済の低迷等により想定したほど販売数量は増えず、また在庫評価差額や原燃料価格上昇によるマイナス影響がありました。



ポパール樹脂：販売数量は前年の欧州向け物流の混乱に起因した特需が一巡したことに加えて、欧米中心に需要が低調となったことから減少しました。また在庫評価差額や原燃料価格上昇によるマイナス影響がありました。

光学用ポパールフィルム：中国の家電買替支援策などを背景に販売は堅調に推移したものの、在庫評価差額によるマイナス影響がありました。

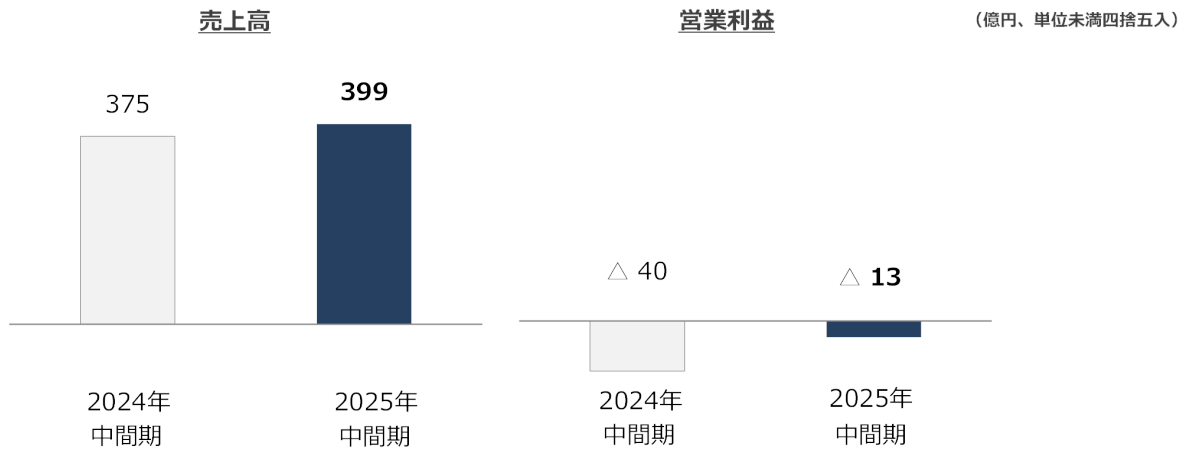
高機能中間膜：特殊アイオノマーシート〈セントリグラス〉は米州を中心に販売が順調に推移しましたが、PVBフィルムはアジアを中心に競争環境の厳しさが増しており、建築用途及び自動車用途ともに販売数量が減少しました。

水溶性ポパールフィルム：個包装洗剤の需要が回復しつつあり、販売数量は増加しました。

EVOH樹脂〈エパール〉：食品包装用途は想定したほど販売数量は増えなかったものの、引き続き欧米中心に順調に推移し、また自動車用途も堅調だったことから販売数量は増加しました。一方で、利益面では在庫評価差額や原燃料価格の上昇等によるマイナス影響がありました。

[イソプレン]

当セグメントの売上高は39,944百万円（前年同期比6.4%増）、営業損失は1,311百万円（前年同期は営業損失4,025百万円）となりました。タイ拠点の稼働安定及び当該拠点を活用した拡販による寄与がありました。

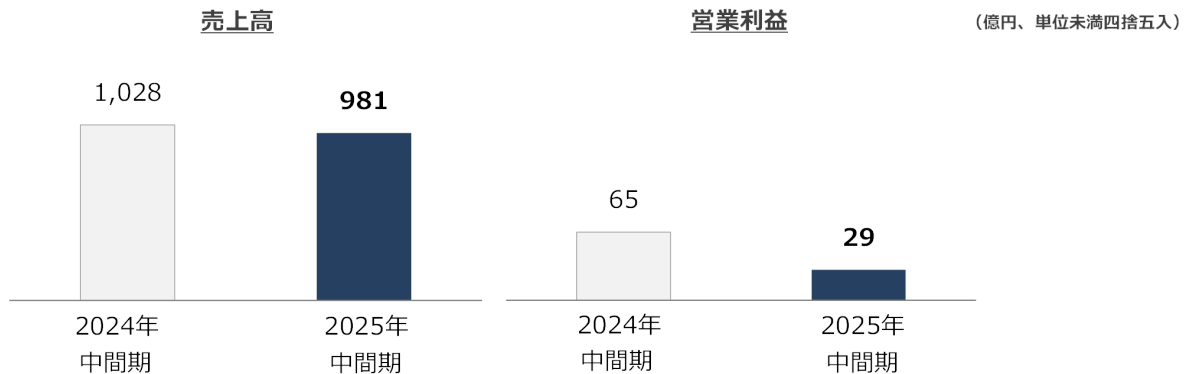


イソプレンケミカル・エラストマー：欧米を中心に需要が堅調に推移し、販売数量の増加及び販売構成の改善が進みました。

耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉：電気・電子用途の需要回復が力強く、また自動車用途での拡販も進み、販売数量が増加しました。

[機能材料]

当セグメントの売上高は98,140百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は2,899百万円（同55.2%減）となりました。米国寒波や生産トラブル等によるマイナス影響がありました。



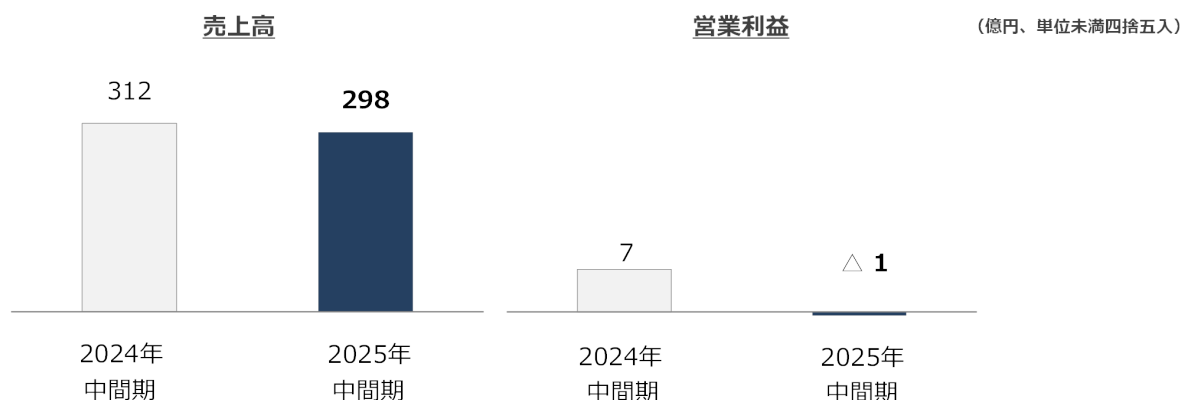
メタクリル：一時的な生産トラブルにより販売数量が落ち込みました。

メディカル：審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に引き続き好調に推移しており、今後の拡販に向けたマーケティング強化を進めました。

環境ソリューション：北米での需要は底堅く推移したものの、一部顧客の設備投資遅れにより製品納入時期が第3四半期以降にずれしました。また欧州で産業用活性炭の需要低調が続いたほか、2024年12月に珪藻土、パーライト事業を譲渡したことなどにより、減収となりました。利益面では米国寒波や生産トラブルによるマイナス影響がありました。

[繊維]

当セグメントの売上高は29,751百万円(前年同期比4.7%減)、営業損失は57百万円(前年同期は営業利益721百万円)となりました。欧州経済の低迷やEVの在庫調整等による影響を受けました。

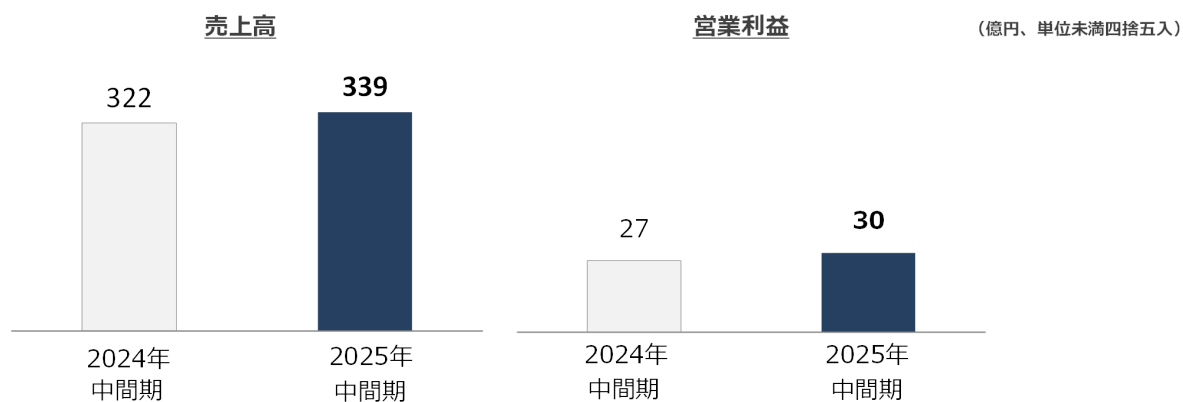


人工皮革〈クラリーノ〉：欧州市場での需要低迷や中国経済の成長鈍化、EVの在庫調整の影響等により、ラグジュアリー用途及び自動車用途の需要が落ち込み、販売数量が減少しました。

繊維資材：欧州の建材用途などが引き続き低調に推移しました。また、在庫評価差額のマイナス影響がありました。

[トレーディング]

当セグメントの売上高は33,908百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は3,042百万円(同11.1%増)となりました。

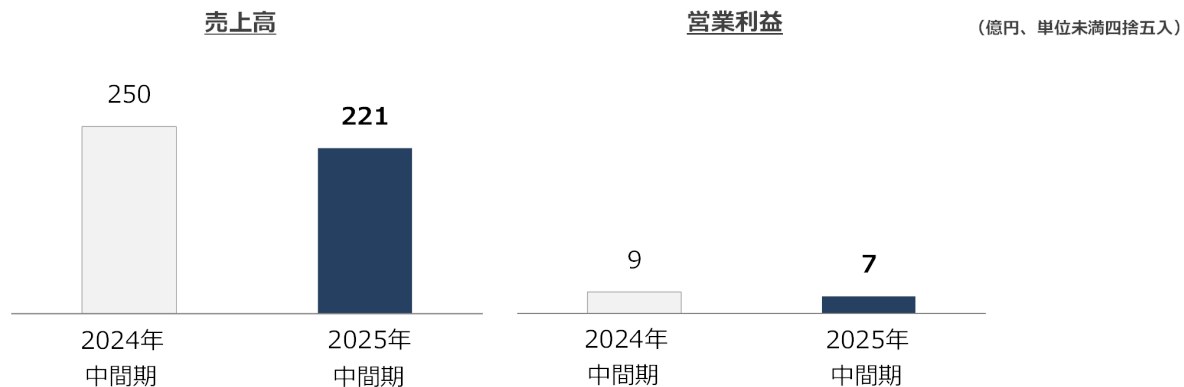


繊維関連事業：スポーツ・アウトドア衣料用途が順調に推移しました。また、高機能原糸や環境対応商品といった高付加価値品の拡販を進めました。

樹脂・化成品関連事業：アジア市場を中心に販売が拡大しましたが、輸入品販売で交易条件の悪化による影響がありました。

[その他]

その他事業の売上高は22,095百万円（前年同期比11.6%減）、営業利益は726百万円（同19.8%減）となりました。



（2）財政状態に関する説明

総資産は、有形固定資産の減少15,854百万円、受取手形及び売掛金の減少5,464百万円及び現金及び預金の減少5,218百万円等により、前連結会計年度末比34,277百万円減の1,256,961百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少8,164百万円等の一方、有利子負債の増加21,355百万円等により、前連結会計年度末比875百万円増の510,323百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加5,294百万円等の一方、為替換算調整勘定の減少30,013百万円等により、前連結会計年度末比35,152百万円減の746,637百万円となりました。自己資本は729,894百万円となり、自己資本比率は58.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績、足元の事業動向及び不確実性の高まっている経済環境を踏まえ、2025年2月12日に公表した2025年12月期通期（2025年1月1日～2025年12月31日）の業績予想を次のとおり修正します。

2025年12月期 通期連結業績予想数値の修正

(2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 860,000	百万円 90,000	百万円 85,000	百万円 45,000	円 銭 138.95
今回修正予想（B）	840,000	75,000	69,000	33,000	103.33
増減額（B－A）	△20,000	△15,000	△16,000	△12,000	
増減率（％）	△2.3	△16.7	△18.8	△26.7	
（参考）前年実績 （2024年12月期）	826,895	85,081	81,480	31,724	96.33

また、予想の前提としている平均為替は米ドル149円、ユーロ166円、国産ナフサ68千円／k1、米国天然ガス3.55ドル／MMBtu、欧州天然ガス38ユーロ／MWhとします。

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,068	112,850
受取手形、売掛金及び契約資産	166,589	161,124
有価証券	3,624	2,154
商品及び製品	170,489	169,761
仕掛品	19,974	20,542
原材料及び貯蔵品	66,365	64,923
その他	21,109	28,863
貸倒引当金	△959	△856
流動資産合計	565,262	559,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	118,633	115,460
機械装置及び運搬具(純額)	292,153	271,356
土地	19,016	16,753
建設仮勘定	59,824	71,341
その他(純額)	50,757	49,618
有形固定資産合計	540,385	524,530
無形固定資産		
のれん	53,591	50,922
顧客関係資産	27,720	23,745
その他	34,586	32,651
無形固定資産合計	115,898	107,320
投資その他の資産		
投資有価証券	29,890	26,487
退職給付に係る資産	4,020	4,111
繰延税金資産	21,485	21,073
その他	14,388	14,163
貸倒引当金	△93	△90
投資その他の資産合計	69,692	65,746
固定資産合計	725,975	697,597
資産合計	1,291,238	1,256,961

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,561	51,397
短期借入金	23,850	43,870
コマーシャル・ペーパー	-	27,000
1年内償還予定の社債	10,000	-
1年内返済予定の長期借入金	18,146	31,800
未払費用	20,394	21,160
未払法人税等	10,094	7,596
賞与引当金	10,772	7,468
その他	45,413	38,779
流動負債合計	198,231	229,072
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	142,286	112,968
繰延税金負債	24,385	23,466
退職給付に係る負債	31,417	32,209
その他	63,127	62,606
固定負債合計	311,216	281,250
負債合計	509,448	510,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,124	87,157
利益剰余金	396,752	402,046
自己株式	△1,462	△9,591
株主資本合計	571,369	568,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,684	7,448
繰延ヘッジ損益	127	△82
為替換算調整勘定	183,693	153,679
退職給付に係る調整累計額	136	280
その他の包括利益累計額合計	192,642	161,325
新株予約権	270	229
非支配株主持分	17,507	16,512
純資産合計	781,790	746,637
負債純資産合計	1,291,238	1,256,961

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	411,217	399,958
売上原価	277,798	282,194
売上総利益	133,419	117,764
販売費及び一般管理費		
販売費	22,670	23,596
一般管理費	65,284	67,906
販売費及び一般管理費合計	87,955	91,502
営業利益	45,464	26,261
営業外収益		
受取利息	1,828	1,054
受取配当金	352	436
持分法による投資利益	155	148
その他	1,487	520
営業外収益合計	3,823	2,160
営業外費用		
支払利息	1,415	1,307
その他	3,850	5,830
営業外費用合計	5,265	7,137
経常利益	44,022	21,284
特別利益		
投資有価証券売却益	1,515	1,590
特別利益合計	1,515	1,590
特別損失		
固定資産売却損	-	980
固定資産廃棄損	579	684
事業整理損	3,477	-
特別損失合計	4,057	1,665
税金等調整前中間純利益	41,480	21,210
法人税、住民税及び事業税	12,774	5,980
法人税等調整額	△1,807	1,196
法人税等合計	10,966	7,177
中間純利益	30,514	14,032
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	67	△6
親会社株主に帰属する中間純利益	30,446	14,039

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	30,514	14,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,000	△1,235
繰延ヘッジ損益	31	△288
為替換算調整勘定	71,796	△30,028
退職給付に係る調整額	174	143
持分法適用会社に対する持分相当額	380	△275
その他の包括利益合計	73,382	△31,685
中間包括利益	103,896	△17,652
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	103,410	△17,277
非支配株主に係る中間包括利益	486	△375

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	41,480	21,210
減価償却費	41,824	41,442
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,515	△1,590
固定資産売却損益(△は益)	-	980
固定資産廃棄損	579	684
事業整理損	3,477	-
売上債権の増減額(△は増加)	△5,448	483
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,382	△6,861
仕入債務の増減額(△は減少)	6,422	△6,626
その他	△11,856	1,556
小計	65,581	51,279
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,976	△10,662
その他	1,098	1,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,703	42,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△33,507	△45,151
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,104	2,541
その他	△4,441	△6,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,845	△49,149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,231	20,020
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	-	27,000
長期借入金の返済による支出	△21,603	△14,439
社債の償還による支出	-	△10,000
自己株式の取得による支出	△8,148	△8,290
配当金の支払額	△8,368	△8,744
その他	△1,975	△2,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,327	3,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,615	△4,076
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,854	△7,758
現金及び現金同等物の期首残高	133,663	121,692
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△601	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	126,207	113,934

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会において自己株式の取得を決議し、取得株式数22,000千株、総額30,000百万円を上限として取得を進めています。この取得等により、当中間連結会計期間において、自己株式が8,128百万円増加し、当中間連結会計期間末において、自己株式が9,591百万円となっています。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しています。これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

I. 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	200,429	28,953	100,310	28,900	31,673	390,267	20,950	411,217	—	411,217
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	8,410	8,584	2,453	2,332	560	22,342	4,047	26,390	△26,390	—
計	208,840	37,538	102,764	31,233	32,233	412,610	24,998	437,608	△26,390	411,217
セグメント利益 又は損失(△)	43,905	△4,025	6,466	721	2,737	49,805	905	50,710	△5,246	45,464

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額△5,246百万円には、内部取引消去2,975百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△8,222百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能材料」セグメントにおいて、減損損失3,249百万円を計上しています。なお、当該減損損失は、当中間連結会計期間において、特別損失の事業整理損に含めて表示しています。

II. 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	193,809	30,494	95,886	27,607	33,255	381,053	18,904	399,958	—	399,958
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	9,076	9,449	2,253	2,143	653	23,576	3,190	26,766	△26,766	—
計	202,885	39,944	98,140	29,751	33,908	404,629	22,095	426,724	△26,766	399,958
セグメント利益 又は損失(△)	29,871	△1,311	2,899	△57	3,042	34,445	726	35,171	△8,909	26,261

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額△8,909百万円には、内部取引消去1,102百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△10,012百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しています。